

事業所名

心きらきら児童デイサービス事業所

児童発達支援 支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

20 日

法人（事業所）理念		当法人は、ソーシャルエンタープライズ(社会的事業所)としての児童デイサービス事業所を運営することによって、障がいのある子どもが個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され又は有する能力に応じ自立した生活を地域社会において営むことができるよう全力で支援する。					
支援方針		1.利用者の特性や年齢に応じて、個別の療育、小集団の療育を実施し、利用者が自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、基礎的な知識・技術の習得や社会性の獲得、創作活動に力を注ぎます。【発達支援】 2.利用者を支えている保育園、こども園、学校、医療機関、福祉事業所、自治体関係部局等と連携して、利用者の成長に寄り添い、知識支援ネットワークの構築や人材育成に努めます。【地域連携】【移行支援】 3.地域社会に貢献する取組として、音楽会、研究会、講演会、保護者会の開催、お茶、お花、音楽等の余暇活動を展開するなど、当事者家族と地域の方々とともに苦楽を分かち合うことを端緒として、地域の子育て世帯を幅広く支援します。【家族支援】					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・排泄・着脱などの仕方を視覚化、絵本・からだ図鑑などを用いての意識づけ、ボタン・ファスナー・ひも結びなどの遊びを通して身辺自立を促します。 ・家庭や集団生活での様子を把握し、身辺自立に必要な手立てを一緒に考えます。 ・クッキングなどを通して、用具や道具の使い方、要領や手順・段取りを学ぶなど生活自立に向けて支援します。 ・お茶・お花・太鼓・外出などを通して、余暇活動のための体験を広げます					
	運動・感覚	・トランポリン・縄・ボール・マット・跳び箱など、様々な運動用具を使って身体を動かす楽しさを通して、身体図式や感覚調整の獲得につなげます。 ・つまむ・回す・引っ張るなどの探索遊びや描く・作るなどの細かな手の動きを通して、手先の巧緻性を育てます。 ・一人ひとりの感覚の違いに留意し、安心と落ち着きが得られる環境を設定します。・自分自身の苦手なことへの気づきを促し、対処できる方法を一緒に見出し、定着できるよう支援します。 ・楽器演奏、身体運動など発達段階に応じた活動を音楽を媒介とすることで、触覚・聴覚・視覚・運動などの統合を一層促進します。					
	認知・行動	・遊びを通して、色・形・大きさ・文字・数などへの興味関心が持てるようにします。・カードや具体物を使って、比較や仲間分けなどの抽象概念を広げるようにします。 ・楽しく取り組めるコグトレ教材などを用いて、集中力・記憶力・想像力などの学習の基礎が身につくようにします。 ・学習したことを生かしながら、さらに様々な事柄や空間・時間系列などの関係性の理解が深まるようにします ・相手の音や動きの変化を感じて、自分の演奏や動きを調整する力を高めることにより、相手に合わせた行動や情動を自己調整する力を育みます。					
	言語 コミュニケーション	・療育者との関係作りを大切に、伝えたいという気持ちや伝わる喜びが持てるようにします。・絵カード・文字盤・ジェスチャー・ペクス・言葉など様々な方法でコミュニケーションを促します。 ・生活や遊びに必要な言葉や挨拶を覚えて使えるように促します。・語彙数を増やし、簡単な疑問詞に答えたり、人と親しみを持って話すことを楽しめるようにします。 ・SSTや絵本などを活用し、イメージしたことや気持ち、状況などを相手にわかるように話ができるように支援します。・ゲーム要素やI Padなどを効果的に活用し、楽しみながら読み書きの基礎が身につくようにします。 ・他者とのコミュニケーションである「やりとり」の原則を、音楽を介して経験し、学べるように援助します。					
	人間関係 社会性	・様々な遊びを通して、他者と関わるのが楽しいと感じられる経験を積みみます。 ・簡単なルールのある遊びやSSTなどを通して、決まりや約束への意識を持ち、状況に応じた行動がとれるように支援します。 ・グループ活動を通して、役割分担や協調性が身につくように支援します。 ・困ったときにカードやしぐさなどで伝えたり、自分の困り感について振り返ったり一緒に考えたりして、人と関わりが持てるように支援します。					
	情緒	・遊びや音楽などを通して、相手と楽しみを共有できる関係を作り、共感、一体感などを得る経験により、人を受け容れたり、安心感が得られるよう支援します。 ・子どもの抱えているエネルギーを音楽を通して発散することで、情動の沈静化と活性化を引き出し、安定的な状態に保ちます。					
	表現・自己表現	・子どもの特性に合わせた遊び、音楽などを通して、自分の感じたことを表したり、相手に自分の気持ちを伝えたり、一緒に活動することで共感が得られたりする機会を設け、満足感、達成感を得ることで、自己表現する意欲や能力を高めます。 ・子ども自身が考え、決めて、行動したことを尊重し、体験で得られたことを発表できる機会を設ける。					
家族支援	・定期的に支援者や利用者の家族を対象とする研修会を開催し、連帯と交流の輪を広げ、子どもを取り巻く環境の整備に取り組む。 ・利用者の家族に寄り添い、子育ての悩みごとや困りごと等について、丁寧な対応や継続的な支援に努める。			移行支援		・子どもの通う保育園、こども園、幼稚園、学校等と連携して、過ごしやすい環境設定（環境調整）や適切な支援の内容・方法について、共通理解、情報共有に努め、一人ひとりの子どもの成長に合わせた支援を継続する。	
地域支援・地域連携	・子どもに関係する子ども家庭支援センター、医療機関、発達障害支援センター等と連携して、支援の輪を広げる。 ・社会福祉協議会などの機関と連携して、地域のボランティア団体との交流を深め、子どもを含めた活動を通して互恵関係を築く。			職員の質の向上		【事業所内】新規採用者研修、(通年)事例検討会、(年2回)職員研修会、虐待防止・身体拘束・ハラスメント等研修会等 【事業所外】発達検査講習会、児発管等資格取得・更新研修、設置者、センター主催研修等	
主な行事等	保護者会、講演会、音楽祭(地域との交流)、地域ボランティアとの交流、嬉野マルシェ(嬉野社会福祉協議会主催)への出店参加、嬉野文化祭への参加(作品交流)、等						